

**2019 年度春期
鳥取大学
GLOBAL GATEWAY PROGRAM**

募集要項

ウガンダ海外実践教育プログラム

春期マレーシアマラヤ大学英語研修

台湾銘傳大学英語研修

春期オーストラリア英語研修

春期アメリカ英語研修

応募期間:10月1日(火)~10月31日(木)



1. 鳥取大学 Global Gateway Program (TUGGP)

鳥取大学は、長期休みを利用した語学研修や異文化体験など、様々な海外派遣プログラムを提供しています。今年度春休みに実施する 5 つの海外派遣プログラムの募集（鳥取大学 Global Gateway Program）を行います。昼休みを利用した語学強化コース（英語・中国語）の募集についても、別途募集を行っています。

2. 2019 年度春期プログラム一覧（各プログラムの詳細は P.9~18 で確認できます）

プログラム名	研修先	日程（期間） ※移動日除く	定員
ウガンダ海外実践教育プログラム	マケレレ大学	2 月下旬～3 月中旬 (約 3 週間)	12 人
春期マレーシアマラヤ大学英語研修	マラヤ大学	2 月中旬～3 月初旬 (約 4 週間)	20 人
台湾銘傳大学英語研修	銘傳大学	3 月上旬～3 月下旬 (約 3 週間)	16 人
春期オーストラリア英語研修	アデレード大学	2 月 17 日～3 月 20 日 (約 5 週間)	15 人
春期アメリカ英語研修	アーカンソー大学	2 月中旬～3 月中旬 (約 4 週間)	5 人

※ウガンダ海外実践教育プログラム、春期マレーシアマラヤ大学英語研修については、応募人数が定員の半数以下の場合は原則として実施しません。

台湾、アメリカ、オーストラリアは教職員が帯同するとはかぎりません。

3. 応募方法

鳥取大学「国際交流課」のホームページ上の **2019 年度春期鳥取大学 Global Gateway Program 応募フォーム** (<https://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/online-application/spring2019>) からオンラインで申請してください。10 月 1 日（火）より入力が可能になります。

※申請が無事に完了した場合は、通知メールが登録したメールアドレスに届きます。

通知メールが届かない場合は、エラーの可能性があるので、お手数ですが、国際交流課国際戦略推進室（電話 0857-31-5052、E-mail: kokuko-renkei@adm.tottori-u.ac.jp）までご連絡ください。

2 次元バーコードを読み取れば、携帯電話、スマートフォンからでも確認できます。



4. 応募資格

プログラム毎に応募資格及び選考方法が異なるため、各プログラムのプログラム概要（p. 8～）に記載されている内容を確認ください。

国際交流センターが実施している語学強化コースの英語上級コース合格証取得者については、選考時に優先されます。ただし、応募フォームの内容が不十分であると判断された場合は、不合格となることもあります。

5. 募集期間 2019年10月1日(火)～10月31日(木)まで

※これ以降は受け付けません。何かあれば 事前に ご相談ください。

6. 選考結果の通知

2019年11月8日(金)頃に、国際交流課から応募フォームに記入したメールアドレス宛に送付される予定です。

7. 募集から研修参加までの流れ

10月

全体募集説明会 10月11日(金) 12:10～12:50
鳥取キャンパス:共通教育棟 A 棟 3 階 第 1 会議室
米子キャンパス:アレスコ棟 2 階第 1 会議室

全体募集相談コーナー 10月24日(木) 12:10～12:50
◆◆ それぞれのプログラムの相談コーナーを準備する予定です ◆◆
鳥取キャンパス:語学シャワー室(鳥取キャンパス)
米子キャンパス:総合教育棟 2 階共用会議室2

個別プログラム説明会(各プログラムの内容・スケジュール・経費等の詳細について) ※日時は次の「8. 説明会日程」で確認ください。

応募(オンライン申請) 締切 10/31(木)11:59PM

<https://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/online-application/spring2019>

※ これ以降は受け付けません。何かあれば事前にご相談ください。

11月

選考(GPA、応募申請書、TOEIC 等)

結果通知 (11月8日(金)頃に通知)

12月

パスポートコピー提出、奨学金手続き、海外旅行保険加入、費用支払(航空券費用、研修費用、保険費用など)、事前研修参加、事前アンケート記入

1月

春休み

海外研修(鳥取大学 Global Gateway Program)に参加

帰国後

報告書、アンケート等の必要書類の提出
事後研修参加、TOEIC 受験、Lunch Time World Café 発表

※11月の結果通知では、候補者として合格通知をメールにてお知らせしますが、その後、事前研修、必要書類の提出状況等から、最終的に参加者を決定します。事前研修参加や必要書類提出状況により、候補者資格の取り消しや参加を辞退していただくこともあります。その場合、それ

までに要した 航空券のキャンセル料等各種手数料は自己負担とします。

※ **プログラムに参加した学生による報告会** (Lunch Time World Café)

2019年度夏期プログラムに参加した学生による報告会 Lunch Time World Café を実施します。海外研修に参加して、学んできたこと、成長したこと、困難だったこと等、経験者の生の声を直接聞くことができます。質問もできます。ぜひご参加下さい。

○ マレーシア、アメリカ

11月15日(金) 12:10~12:50

共通教育棟5階 C51 (鳥取キャンパス)

総合教育棟1階共用会議室1 (米子キャンパス)

○ メキシコ、カナダ

11月22日(金) 12:10~12:50

共通教育棟5階 C51 (鳥取キャンパス)

総合教育棟2階共用会議室2 (米子キャンパス)

8. 説明会の日程と場所

全体募集説明会および個別プログラム説明会（各プログラムの内容・スケジュール・経費等の詳細について）を以下の日程で開催します。プログラム担当教員による具体的なプログラム内容の説明とプログラム参加経験学生による体験談を含めた各プログラムの参加を検討している人は、是非参加して下さい。

プログラム名	日時	会場 (鳥取キャンパス)	会場 (米子キャンパス)
全体募集説明会	10/11(金) 12:10~12:50	共通教育棟 A 棟 3階第1会議室	アレスコ棟 2階 第1会議室
全体募集相談コーナー それぞれのプログラムの相談コーナーを準備する予定です。	10/24(木) 12:10~12:50	共通教育棟 1階 語学シャワー室	総合教育棟 2階 共用会議室 2
個別プログラム説明会 ① ウガンダ海外実践教育プログラム	10/15(火) 12:10~12:50	共通教育棟 1階 語学シャワー室	総合教育棟 2階 共用会議室 2
② 春期マレーシアマラヤ大学英語研修・台湾銘傳大学英語研修	10/16(水) 12:10~12:50	共通教育棟 1階 語学シャワー室	総合教育棟 2階 共用会議室 2
③ 春期オーストラリア英語研修・春期アメリカ英語研修	10/17(木) 12:10~12:50	共通教育棟 1階 語学シャワー室	総合教育棟 2階 共用会議室 2
Lunch Time World Café (夏期プログラム報告会, マレーシア、アメリカ)	11/15(金) 12:10~12:50	共通教育棟 5階 C51	総合教育棟 1階 共用会議室 1
Lunch Time World Café (夏期プログラム報告会, メキシコ、カナダ)	11/22(金) 12:10~12:50	共通教育棟 5階 C51	総合教育棟 2階 共用会議室 2

※各説明会は鳥取大学グローバル国際交流情報 Facebook にて、ライブ配信・オンライン配信する予定です。Facebook はこちら→



9. 奨学金の支給について

ウガンダ海外実践教育プログラム及び春期マレーシアマラヤ大学英語研修の参加者のうち、所定の基準を満たした場合、日本学生支援機構（JASSO）の奨学金（返済不要）を受給することが出来ます（予定）。

プログラム名	支給額
ウガンダ海外実践教育プログラム	6万円（6名）
春期マレーシアマラヤ大学英語研修	7万円（12名）

※上記奨学金受給者のうち、JASSOの定める家計基準を満たす場合、奨学金と併せて「渡航支援金」（16万円）を受給することができます。

※学部によっては、全プログラム対象の奨学金が別途支給される場合があります。詳細は各学部教務係へお問い合わせください。

10. 各プログラムの語学レベルと内容の位置付け

皆さんの目指す語学レベルや目的に応じて、プログラムを選べるよう、多様なプログラムを準備しています。この他、各学部でもたくさんのプログラムを用意しています。自分の希望に合うものを探して、チャレンジしてみましょう。

鳥取大学Global Gateway Program			
プログラムの種類	初級レベル	中級レベル	上級レベル
			鳥取大学ITP 交換留学
	各学部の専門教育で実施する海外プログラム		
海外実践プログラム 海外のフィールドでの実践教育（語学はツール）。グローバル能力（グローバルマネジメント能力）の向上をめざす。本学で企画。	ウガンダ海外実践教育プログラム	メキシコ海外実践教育プログラム	
語学・多文化共生力プログラム 言語強化+多文化共生力育成。本学が企画し、海外の大学で実施。		台湾銘傳大学英語研修（春） マレーシアマラヤ大学英語研修（春・夏）	
語学プログラム 語学力強化に特化。海外の大学が提供する語学プログラムに参加。		オーストラリア英語研修（春） アメリカ英語研修（春・夏） カナダ英語研修（夏）	
	国内英語イマージョンプログラム		

11. 派遣前の安全管理教育「海外安全マネジメント」の履修

海外では、日本で触れることができない文化、習慣、生活を経験できる反面、日本での生活では感じる事が少ないストレスを経験したり、犯罪に巻き込まれたり、病気になるリスクが増加します。研修先での不安を最低限にし、最大の研修成果が得られるよう、安全管理に関する「海外安全教育」又は「海外安全マネジメント」の単位取得を参加条件としています。安全管理について十分に勉強しておくことで、犯罪等のトラブルに巻き込まれたり、病気にかかったりしないようにしましょう！

後期は通常の授業（全15回。水曜日5限、あるいは木曜日1限）と11月16日より集中講義（土曜日）が開講される予定です。講義の履修登録の締切りは10月17日、集中講義の申込みは、別途掲示でお知らせします。

※ 「大学入門ゼミ」の2コマの海外安全教育とは異なります、ご注意ください。

問い合わせ先：教育支援課教務企画係

12. 派遣後のTOEICテストの受験について

本研修参加者はTOEICテストの受験が必要となります。鳥取大学で開催しているTOEICテストを受験できない学生は、各自で受けていただくことになります。本研修の学習成果の一部としての、語学力の確認のため受験を義務付けます。

13. 鳥取大学グローバル人材育成(TOUGH)プログラム

グローバル化社会で必要とされるグローバル能力を誰もが修得できるよう「鳥取大学グローバル人材育成教育(TOUGH)プログラム」として、基礎力を養うことを目的とした「グローバル基礎力養成コース」と、国際通用性のある専門知識とより高いグローバル能力を養う「グローバル強化コース」が用意されています。TOUGHプログラム修了のためには、TUGGP等の海外研修に参加する必要があります。

14. プログラム概要

ウガンダ海外実践教育プログラム	p. 8-9
春期マレーシアマラヤ大学英語研修	p. 10-11
台湾銘傳大学英語研修	p. 12-13
春期オーストラリア英語研修	p. 14-15
春期アメリカ英語研修	p. 16-17

15. 研修概要一覧

プログラム名	研修先	日程(期間) ※移動日除く	費用	主な特徴	定員
ウガンダ 海外実践教育 プログラム	マケレレ大学 国際協力機構 (JICA)	2月下旬 ～ 3月中旬 (3週間)	約 35 万円	★語学レベル：初級～上級 ★歴史・文化、教育・医療制度、経済・産業等ウガンダの基礎知識を英語で学ぶ ★日本大使館・JICA 訪問、JICA プロジェクト実習、国立公園見学、現地高校生との交流など多彩なフィールドワーク	12 名
春期 マレーシア マラヤ大学 英語研修	マラヤ大学	2月中旬～ 3月中旬 (4週間)	約 27 万円	★語学レベル：中級～上級 ★現地学生と一緒に学び、生活する ★日本大使館・JICA・JETRO 等訪問 ★マレーシアと日本相互の文化・社会・歴史を英語で学ぶ ★手頃な研修費	20 名
台湾 銘傳大学 英語研修	銘傳大学桃園 キャンパス	3月上旬 ～ 3月下旬 (3週間)	約 20 万円	★語学レベル：中級～上級 ★現地学生(TA)が授業と生活をサポート ★台湾の歴史・文化を満喫 ★手頃な研修費	16 名
春期 オーストラリア 英語研修	アデレード 大学	2月17日 ～ 3月20日 (5週間)	約 50 万円	★語学レベル：初級～上級(5レベル) ★ホームステイ ★オーストラリアの文化・歴史・自然を満喫	15 名
春期アメリカ 英語研修	アーカンソー 大学	2月中旬～ 3月中旬 (4週間)	約 55 万円	★語学レベル：初級～中級 ★ホームステイ ★リーダーシップ・キャリア育成 ★現地学生(アメリカ人カンパセーションパートナー)がサポート	5名

ウガンダ海外実践教育プログラム

1. プログラム概要

「アフリカの真珠」と呼ばれるウガンダに滞在し、マケレレ大学でウガンダの社会経済、文化歴史、教育・医療事情などについて学びます。

さらに、在ウガンダ共和国日本国大使館、独立行政法人国際協力機構（JICA）ウガンダ事務所、高校などの教育機関、農業研究センターや、国際協力サイトでのフィールド研修を通じて理解を深めます。国立公園では野生動物に出会い、環境保全・自然保護について学びます。

JICA のプロジェクトでは、アフリカの食糧増産のために研究開発されたネリカ米の研究所を訪問して実習をします。

今後大きな発展が期待されるアフリカの醍醐味を味わえるプログラムとなっています。



2. 研修先

マケレレ大学（ウガンダで最も規模が大きく、2 番目に歴史のある大学（設立 1922 年）、アフリカ諸国の大学の中でトップ 10 に入り、アフリカ各国の大統領の出身大学）

訪問機関：在ウガンダ日本国大使館、JICA ウガンダ事務所、青年海外協力隊活動現場、Namulonge 農業研究センター（JICA プロジェクト）、Kakira Sugar Company、Kennedy Secondary School、Murchison Falls 国立公園など

3. 研修期間

2020 年 2 月下旬～3 月中旬（約 3 週間）（移動日除く）

4. 応募条件、選考

- 全学部生・大学院生
- 出発前の黄熱病ワクチンの接種（必須）
- 「海外安全教育」の修得者、又は、「海外安全マネジメント」の修得者及び現在履修中の者
※ただし、研修開始前に不合格、または未履修が確定した場合、研修に参加できません
- 保護者の承認を得ている者
- GPA、TOEIC スコア及び申請書内容により選考

5. 研修内容

- マケレレ大学においてウガンダの概況、経済、文化や歴史等について英語で学びます。
- 在ウガンダ日本国大使館・JICA 訪問、農業・医療・教育機関視察等多彩なフィールドワークを通して、グローバルな視野を広げます。
- JICA プロジェクトでの実習（稲研究所）開発援助の現場視察、青年海外協力隊員との交流を通して、開発援助（国際協力）の基礎を学びます。
- 国立公園を訪問し、環境保全・自然保護について学びます。
- マケレレ大学学生 TA との交流など、異文化理解も深めます。

6. 参加費用

約 35 万円（航空券、宿泊費、海外旅行保険費用、国立公園入場料、授業料（マケレレ大学）

* 上記の経費以外で自己負担するもの

パスポート申請代金、ビザ申請料、黄熱病予防接種料、関西国際空港までの往復交通費など。

なお、研修実施のための謝金や車両その他の費用は大学が負担します。

7. 宿泊先

カンパラ市：Grand Global Hotel

Murchison 国立公園：Sambiya Liver Lodge

ジンジャタウン：Brisk Hotel Jinja 等

返済不要の JASSO 奨学金 6 万円受給可！

（成績及び経済状況の条件あり）

学部から奨学金が出る場合もあるので、各自で各学部を確認すること

8. 単位認定

ウガンダで修得した単位は、各学部において全学共通科目又は専門科目の単位として認定することができます。認定手続きや認定可能な単位等の詳細は各学部教務係へ照会してください。

※事前研修の際に説明予定

9. 定員 6～12 名程度

※6 名以下の場合には実施しません



現地高校生との交流

10. 事前事後研修

派遣候補学生として決定後、事前研修を 10 回程度実施予定です。

- ウガンダ基礎情報
- 英語コミュニケーション研修
- マナー研修
- 渡航先で行うプレゼンテーション準備

帰国後、合同の事後研修を 3 月末に実施予定です。

11. 研修前後の提出物 P. 18 参照

12. 問い合わせ先

全般的な質問：国際交流センター

安藤教授 TEL 0857-31-5663 Email: andota@tottori-u.ac.jp

書類等の手続き：国際交流課国際戦略推進室

TEL 0857-31-5052 Email: kokuko-renkei@ml.adm.tottori-u.ac.jp



春期マレーシアマラヤ大学英語研修

1. プログラム概要

マレーシア・クアラルンプールにあるマラヤ大学学生と、マレーシアと日本の「言語・文化・社会」を4週間協働学習(学び合い)し、グローバル社会で生きるための多文化共生力を育成します。また、文化体験の授業や小旅行もありますので、マレーシアの歴史や文化に触れることができます。そして、マラヤ大学の学生がバディとして、参加者1人1人に付きまますので、学生同士の交流も図れます。



2. 研修先

マラヤ大学人文・社会科学部

(※マレーシアにおける最高学府として最も長い歴史を有する国立大学)

3. 研修期間

2020年2月中旬～3月初旬(約4週間)

(移動日を除く)



4. 応募条件、選考

- 各学部生・大学院生
- 現地渡航までにTOEICスコア400点以上を取得する意欲のある者
- 「海外安全教育」の修得者、又は「海外安全マネジメント」の修得者及び現在履修中の者
※ただし、研修開始前に不合格、または未履修が確定した場合、研修には参加できません
- 保護者の承認を得ている者
- GPA、TOEICスコア及び申請書内容により選考

5. 研修内容

- 日本とマレーシア相互の社会・文化・歴史について英語で受講し、マラヤ大学学生と協働してグループディスカッションやプレゼンテーション行い、コミュニケーション能力を磨きます。
- マラヤ大学の学生バディが、ルームメイトとして生活面をサポートし、日常生活の全てを現地学生と過ごします。
- 課外活動もあり、マレーシアの自然、歴史、文化に触れることができます。
- 2日間のホームステイもあり、マレーシアの家庭での生活も体験できます。
- 日本大使館・JICA・JETRO等を訪問し、日本とマレーシアの関係について学びます。



6. 参加費用

約 27 万円（授業料、渡航費、宿泊費、食費（朝食、昼食、アフタヌーンティー））

* 夕食費と生活費は除く

* 上記の経費以外で自己負担するもの

パスポート申請代金、海外旅行傷害保険、関西国際空港までの往復交通費、出発前泊費用等。

7. 宿泊先

マラヤ大学の宿舎に滞在します。

8. 単位認定

総合英語Ⅰまたは総合英語Ⅱとして1単位認定することができます。

〈単位認定申請期間〉各学期の履修手続き期間内

〈単位認定に必要なもの〉マラヤ大学発行、修了書および成績証明書

* 申請した場合、6月もしくは12月頃、所属学部から単位認定書が発行されます。詳細は、各学部にご確認ください。

返済不要の JASSO 奨学金 7 万円受給可！

（成績及び経済状況の条件あり）

学部から奨学金が出る場合もあるので、各自で各学部を確認すること

9. 定員 10名～20名 ※9名以下の場合には実施しません

10. 事前事後研修

派遣候補学生として決定後、事前研修を7回程度実施予定です。

また、帰国後、合同の事後研修を3月末に実施予定です。

11. 研修前後の提出物 P.18 参照

12. 問い合わせ先

全般的な質問：国際交流センター

ロクサナ特命准教授

TEL：0857-31-5659

Email：roxana113@tottori-u.ac.jp

書類等の手続き：国際交流課国際戦略推進室

TEL：0857-31-5052

E-mail：kokuko-renkei@ml.adm.tottori-u.ac.jp



台湾銘傳大学英語研修

1. プログラム概要

台湾の銘傳（めいでん）大学で鳥取大学のために実施する英語研修で、英語の実践的運用能力を磨きます。米・英・カナダで学んだ素晴らしい教授陣による、英語4技能（読む・書く・聞く・話す）の集中トレーニングで、授業はすべて英語で行われます。授業以外に Cultural Tour にも参加し、台湾の歴史・文化に触れることができます。銘傳大学の英語・日本語専攻の学生が TA（ティーチングアシスタント）として参加してくれるので、安心して参加でき、学生同士の交流も図れます。

2. 研修先

銘傳大学桃園キャンパス（台湾・桃園市）

※アジアで初めてアメリカ中部の大学教育の認証を取得しています。

3. 研修期間

2020 年 3 月上旬～3 月下旬
（約 3 週間）（移動日を除く）

4. 応募条件、選考

- 各学部生・大学院生
- 現地渡航までに TOEIC スコア 400 点以上を取得する意欲のある者
- 「海外安全教育」の修得者または「海外安全マネジメント」の修得者、履修中の者
※ただし、研修開始前に不合格、または未履修が確定した場合、研修には参加できません
- 保護者の承諾を得ている者
- GPA および TOEIC スコア、申請書内容により選考

5. 研修内容

- ネイティブスピーカー講師らによるレベルの高い英語4技能（読む・書く・話す・聞く）の集中トレーニング。
- 銘傳大学の英語専攻の学生が授業 TA で、日本語専攻の学生が生活 TA として参加。
- 故宮博物院や九份を訪ねる文化研修があり、台湾の歴史・文化に触れることができます。
- 最終日に各自英語によるプレゼンテーションを行います。



6. 参加費用

約 20 万円（授業料・渡航費・宿泊費・文化研修参加費）

* 食費・生活費等は除く。ただし、物価は、日本の 2 分の 1 から 3 分の 1 程度

* 上記の経費以外で自己負担するもの

パスポート申請代金、海外旅行傷害保険、関西国際空港までの往復交通費、出発前泊費用等。

学部から奨学金が出る場合もあるので、各自で各学部に確認すること

7. 宿泊先

銘傳大学が運営しているホテル（桃園キャンパス内）に宿泊します。1 人、2 人、4 人部屋（和室）があり、途中で部屋替えを行います。いずれの部屋もバスまたはシャワー・トイレ付です。

8. 単位認定

海外実践教育科目として単位認定します。

（「海外実践教育科目履修願」を提出する必要があります。 ※事前研修の際に説明予定）

9. 定員 16 名

10. 事前事後研修

派遣候補学生として決定後、事前研修を 6 回程度実施予定です。

帰国後、合同事後研修を 3 月末に実施予定です。

11. 研修前後の提出物 P. 18 参照

12. 問い合わせ先

全般的な質問：国際交流センター 御館准教授

TEL：0857-31-5748

Email：otachik@tottori-u.ac.jp

書類等の手続き：国際交流課学生交流係

TEL：0857-31-5056 Email：kokuko-gaku@ml.adm.tottori-u.ac.jp



春期オーストラリア英語研修

1. プログラム概要

アデレード大学は、オーストラリアで3番目に古い大学で、いままでに5名のノーベル賞受賞者を輩出するなど、オーストラリア屈指の学術研究機関です。大学周辺には、オーストラリアの歴史や文化、自然に関する博物館や、アートギャラリー、植物園、動物園が設置されています。この研修をとおして、英語能力の向上はもちろん、オーストラリア文化や歴史、自然についても知見を深めることが期待できます。また、オーストラリア滞在中は、ホームステイを予定していますので、ホストファミリーを通してオーストラリアの日常や習慣を学ぶことができます。

2. 研修先

オーストラリア・アデレード大学(University of Adelaide)、The English Language Center (ELC)

3. 研修期間

2020年2月17日(月)～3月20日(金) (約5週間) (移動日を除く)

4. 応募条件、選考

- 全学部生、大学院生
- 「海外安全教育」の修得者、又は、「海外安全マネジメント」の修得者及び現在、履修中の者

※ただし、研修開始前に不合格、または未履修が確定した場合、研修には参加できません

- 保護者の承諾を得ている者
- GPA 及び TOEIC スコア、申請書内容により選考

5. 研修内容

アデレード大学 ELC が開催する General English

Academic Program(GEAP), University of Adelaide に参加

月～金 1日4時間 英語の授業 (5レベル:初級～上級)

スピーキング/リスニング/リーディング/ライティングスキルの向上を目指します

*金曜日は、extension class として希望する分野のクラスを受講します。

6. 参加費用

約50万円(平成30年度実績)

授業料、ホームステイ費用、航空券、アクティビティー費用を含む。

*上記の経費以外で自己負担するもの

パスポート申請代金、海外旅行傷害保険、ビザ(ETAS)申請料、関西国際空港までの往復交通費、出発前泊費用など。



アデレード市の街並



学部から奨学金が出る場合もあるので、各自で各学部に確認すること



7. 宿泊先 ホームステイ

＜ホームステイ先から提供されるものと条件＞

- ・空港でのピックアップ／ドロップオフサービス
- ・プライベートベットルーム
- ・食事(朝食／昼食(サンドイッチなどの軽食)／夕食)
- ・通学 40 分圏内

8. 単位認定

総合英語Ⅰまたは総合英語Ⅱとして1単位認定することができます。

＜単位認定申請期間＞各学期の履修手続き期間内

＜単位認定に必要なもの＞アデレード大学発行の修了書および成績証明書

* 申請した場合、6 月もしくは 12 月頃、所属学部から単位認定書が発行されます。詳細は、所属学部にご確認ください。

9. 定員 15 名

10. 事前事後研修

派遣候補学生として決定後、事前研修を 5 回程度実施予定です。帰国後、合同事後研修があります。

11. 研修前後の提出物 P. 18 参照

12. 問い合わせ先

国際交流課学生交流係

TEL : 0857-31-5056 Email : kokuko-gaku@ml.adm.tottori-u.ac.jp





春期アメリカ英語研修



1. プログラム概要

この研修は、鳥取大学と大学間協定を締結しているアメリカ合衆国アーカンソー大学にて実施します。本学と鳥取大学は、春期カナダウォータールー大学英語研修及び春期アメリカ合衆国アーカンソー大学英語研修を協力しながら、実施しています。

アーカンソー大学英語学習センター (Spring International Language Center) での授業 (英会話・文法・発音練習)、ホームステイ体験、カンパセーションパートナーとの交流、豊かな自然の中での野外活動等、様々な体験を通して、実践的な生きた英語を学びます。

2. 研修先

アメリカ合衆国・アーカンソー大学 (University of Arkansas)、ファイアットビル

3. 研修期間

2020 年 2 月中旬～3 月中旬 (約 4 週間)



アーカンソー州

4. 応募条件、選考

- 各学部生・大学院生
- GPA および TOEIC スコア、申請書内容により選考
- 「海外安全教育」の修得者または「海外安全マネジメント」の修得者、履修中の者。
※ただし、研修開始前に不合格、または未履修が確定した場合、研修には参加できません。
- 保護者の承諾を得ている者。



アーカンソー大学

5. 研修内容

- 1 日 5 時間の授業で、主に英会話・コミュニケーション能力の向上を目指します。授業の題材としてアメリカ文化の理解を図るとともに、リーダーシップ・キャリア育成を目的としたプログラムを行い、7つの能力 (コミュニケーション能力, 実践的な外国語能力, チームワーク能力, キャリアデザイン能力, 分析能力, プレゼンテーション能力, 地域貢献能力) の向上を目指します。
- 参加日本人学生 3 人に 1 人のアメリカ人学生がカンパセーションパートナーとしてつき、ハイキング、異文化交流プログラム、スポーツ観戦等を楽しみます。
- 歓迎・送別パーティー、修了式、レセプション等が開催されます。



6. 参加費用

約 55 万円〈予定〉

* 費用に含まれるもの

・ 研修費（テキスト、見学、イベント参加、パーティー費用など）、滞在費（ホームステイ、朝食、夕食）、航空運賃（成田～経由地～フェイエットビル往復）

* 上記の経費以外で自己負担するもの

パスポート申請料金、海外旅行傷害保険、ビザ申請料、昼食費、成田国際空港までの往復交通費など。

学部から奨学金が出る場合もあるので、各自で学部教務係に確認すること

7. 宿泊先

ホームステイ アメリカの家庭生活や風習を体験しましょう！

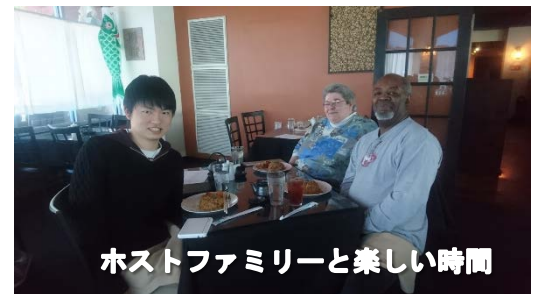
8. 単位認定

総合英語Ⅰまたは総合英語Ⅱとして1単位認定することができます。

〈単位認定申請期間〉各学期の履修手続き期間内

〈単位認定に必要なもの〉アーカンソー大学発行、修了書および成績証明書

* 申請した場合、6月もしくは12月頃、所属学部から単位認定書が発行されます。詳細は、所属学部にご確認ください。



ホストファミリーと楽しい時間

9. 定員 5名（島根大学の学生も参加します）

10. 事前事後研修

Skype等を用いて島根大学の参加者との顔合わせを行います。

その他に、事前事後研修があります。

11. 研修前後の提出物 P. 18 参照



他国からの留学生と一緒に勉強

12. 問い合わせ先

国際交流課学生交流係

TEL : 0857-31-5056 Email : kokuko-gaku@ml.adm.tottori-u.ac.jp

共通提出物チェックリスト

鳥取大学 Global Gateway Programに参加するにあたって、以下の書類の提出が求められます。空欄となっている提出時期・提出先は、各プログラムで異なるため、直接プログラム担当に確認して、各自で記入しましょう。

※書類の様式は、別途プログラム担当から指示があります。

※これ以外の書類についても提出を求められることがあります。

研修前後の提出書類（参加者全員）

書類	提出期限 (提出時期)	提出先	提出 チェック欄
パスポートの写し	派遣決定後すぐ	国際交流課	
参加同意書	11月29日(金)		
参加者調査票	11月29日(金)		
参加者問診票	11月29日(金)		
海外渡航届 (教務システムから入力)	1月中旬	オンライン入力・担当教員、保護者が押印後各学部教務係	
参加前アンケート	11月29日(金)	オンライン提出	
参加後アンケート	3月31日(火)	オンライン提出	
研修報告書	3月31日(火)	国際交流課にメール提出	

JASSO 奨学金関係書類（ウガンダ、マレーシアのプログラム該当者のみ）

書類	提出期限 (提出時期)	提出先	提出 チェック欄
日本学生支援機構奨学金の決定通知書のコピー(JASSO 奨学金受給者)	11月29日(金)	国際交流課	
世帯全員の住民票 保護者の源泉徴収票/確定申告書の コピー(JASSO 奨学金未受給者)	11月29日(金)		
海外留学生支援制度(協定派遣)理由書 ※該当者のみ	11月29日(金)		
口座振込申出書	1月中旬		
預金通帳コピー(口座名義人、口座番号、銀行支店名記載ページ)	1月中旬		
在籍確認書(様式 C-2)	留学中毎月1回		
留学前・留学後報告書(様式 H-2)	出発前および 帰国後1週間以内		

※日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者で、JASSO の成績基準及び家計基準を満たした学生。それぞれのプログラムに定員枠があります。

海外旅行保険研修

個別の事前研修以外に、鳥取大学が行う春期鳥取大学 Global Gateway Program の参加者を対象とした海外旅行保険研修の開催を予定しています。

研修名	日時	場所
海外旅行保険研修	1月24日(金) 12:10-12:50	共通教育棟5階C棟C51(鳥取キャンパス) アレスコ棟2階第1会議室(米子キャンパス)

合同事後研修と Lunch Time World Café への参加 ※参加必須

研修名	日時	場所
合同事後研修 (2020年3月末)		
TOEIC 試験 (2020年4月)		
Lunch Time World Café (2020年6月頃)		

プログラム参加後の広報活動について

プログラム参加後に、鳥取大学 Global Gateway Program についての体験談を大学から依頼することがあります。また、次期の募集の際に広報活動の一環として、説明会での体験談発表等を大学から依頼することがあります。その際は、ご協力をお願いします。

2019 年度春期鳥取大学 Global Gateway Program 応募フォーム

<https://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/online-application/spring2019>



連絡先: 国際交流センター／国際交流課

TEL: 0857-31-5052 内線 2706

E-mail: kokuko-renkei@ml.adm.tottori-u.ac.jp